

Q4

### 普天間飛行場の移設先とされる沖縄島北部の辺野古崎・大浦湾はどんな海域なのか。

沖縄島の北部にある、辺野古崎と、それに隣接する大浦湾には、世界的にも貴重で生物多様性が非常に高い亜熱帯島嶼域の豊かな海域と森があり、これらは私たちの誇るべき財産とすることができます。

その中でも、埋立によって新基地を造ろうとしている辺野古・大浦湾周辺の海域は、断層や、浸食によってできた大きく深い湾が、海や陸の影響を受けることにより、多様な生態系が組み合わさる貴重な自然環境となっています。

この海域の、これだけ狭い海域(約8,900エーカー)に、絶滅危惧種262種、5800種(プランクトン466種を含む)もの生物が生息しており、多くの生物多様性豊かな生態系を形成しています。また、この海域では多くの生物種が確認されており、2006年からの10年間で、エビやカニ、ハゼなどの新種計26種が相次いで発見されています。今後、さらに多くの新種が見つかる可能性も十分にあります。

大浦湾一帯は、世界の生物多様性のホットスポットのひとつと認識されている我が国の中でも極めて生物多様性の高い地域です。

このように大浦湾の自然環境は、人類共通のかけがえのない財産であり、将来の世代に引き継いでいくべきものです。



ダイビングチームすなっくスナフキン提供

① 亜熱帯の森林  
(世界的に少ない亜熱帯照葉樹林を形成)



ダイビングチームすなっくスナフキン提供

② トカゲハゼ(レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類)



ダイビングチームすなっくスナフキン提供

③ カゲロウツブスナギンチャク(新科新属新種)



ダイビングチームすなっくスナフキン提供

④ マジリモク(7.4m群落は世界初確認)



琉球新報社提供

⑤ 食み跡 ジュゴン(IUCNレッドリスト絶滅危惧種)



琉球新報社提供

⑥ アオミガメ(絶滅危惧種Ⅱ類・国際希少野生動物種)

